

資料3： プロジェクト終了とその後のフォローアップに関して  
関係8ヵ村の農業改良普及員への質問書（1996.6.25）

南東スラエシ州農業農村総合開発計画(IARD)は1997年2月末で終了する予定です。プロジェクトの継続性をよりよいものにするために、関係者の間で終了後の問題について検討が行なわれています。農民組織強化部門でも各村で設立された水利用組合(P3A)、農業機械利用組織(FMRS)、精米所(RMU)、ストックフアンド・システム等のグループや組織が永続的に発展することを願っています。私達は現状をよく理解するためみな様の御協力をお願いいたします。以下の質問に答えることによってみな様の建設的で本当の御意見をお聞かせ下さい。(1996年6月25日PPL会議の際調査、回答者：12名)

1. 1997年2月末プロジェクトが終わった場合、これらの組織が自らの努力とリーダーシップで順調に運営されると思いますか？

a. はい... 0      b. いいえ... 12

2. もし第1問に「いいえ」と答えたなら、PPLとして何が問題だと思いますか？(複数回答可)

a. グループ運営の経験の不足... 7  
b. グループ内での指導者の欠如... 3  
c. 事業を継続していくための予算を含めた便益の不足... 10  
d. 技術情報の不足... 0  
e. その他(特にあれば書いて下さい)... 0

3. もし、フォローアップがあるとした場合、農民組織強化分野の継続性を考える上で最も大切な事は何だと思いますか？(複数回答可)

a. もっとカウンセリングや指導が必要である... 3  
b. もっと実際の研修が必要である... 5  
c. もっと技術的また資財等のサポートが必要である... 7  
d. プロジェクトとの共同作業が必要である... 10  
e. その他(特にあれば書いて下さい)... 0

4. このプロジェクトの評価と影響について、ネガティブな面を含めあなたの率直な意見を書いてください。

- 1) まだ多くの人達は、村で行なわれているプロジェクトの目的を理解していない。
- 2) 農業、グループ活動、機械利用、その他いろいろな施設等に関する知識と技能は大変よかった。
- 3) プロジェクト期間また終わってからの指導とカウンセリングはまだ必要である。
- 4) プロジェクト期間中農民達は向上したが、普及員はまだ政府正職員になっていない。
- 5) 農民グループリーダーを含め、普及員による先進地の比較研究が必要である。
- 6) 先進地への研修視察旅行が必要である。
- 7) プロジェクトに係る普及員に手当を支給すべきである。
- 8) このプロジェクトは農民の所得を向上させることで大きな効果があった。しかし全ての農民の生活水準が向上したわけでない。まだ社会的、人的面での向上が必要である。
- 9) 普及員に手当が支払われなかったことは残念であった。
- 10) プロジェクトは非常に大きな効果をもたらした。しかし普及員に対して手当を支払うべきであった。
- 11) 否定的面として、普及員に手当が支払われなかったことである。
- 12) 積極的な面として、仕事の規律、また技術的な影響としてはグループガイダンスが挙げられる。否定的面として普及員に手当が支給されなかったこと。
- 13) JICAプロジェクトによって、農民グループに対しての指導、カウンセリングにより知識や技能が移転された。



表1: I I. 協力活動経緯

(農民組織強化部門) 活動実績一覧(1)

TSIの項目	活動内容	平成3年度(1年次)	平成4年度(2年次)	平成5年度(3年次)	平成6年度(4年次)	平成7年度(5年次)	平成8年度(6年次)
		MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF
事務所/カウンタート	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 事務所在任状況</li> <li>* 定時勤務</li> <li>* カウンタートパート勤務状況</li> </ul> <p>Mr. Mappinangku                      Mr. Bien Bangapadang                      Mr. Mansur Azia                      Mr. Andjaria Pangerang                      Mr. Yanas Suruyana                      Mr. Syamsul Rijal</p>	{	{	{	{	{	{
I. 農民組織調査	I. 農民組織調査						
1. 対象村の農民組織の実態調査	1. 対象村の農民組織の実態調査、データ収集および分析						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ラノスト村</li> <li>(2) バラガ村</li> <li>(3) キアエラ村</li> <li>(4) ラエラ村</li> <li>(5) ラロバ村</li> <li>(6) ラブル村</li> <li>(7) サラコラ村</li> <li>(8) オネウラ村</li> </ul>						
	2. 対象村の農民組織実態調査						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) サラコラ村</li> <li>(2) オネウラ村</li> </ul>						
	3. 対象村の農村女性進捗調査						
	4. 対象村の農業生産調査						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 水田調査</li> <li>(2) 陸田調査</li> </ul>						

表3: I I. 協力活動経緯

(廣長組織強化部門)

活動実績一覧(2)

TSIの項目	活動内容	平成3年度(1年次)	平成4年度(2年次)	平成5年度(3年次)	平成6年度(4年次)	平成7年度(5年次)	平成8年度(6年次)
		MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF	MAMJJASONDJF
II. 事業参加に係わる組織育成強化	II. 事業参加に係わる組織育成強化						
1. 組織作り	1. 組織作り		(ラノスト)	(バラノガ)	(キアエフ、ラガル)	(ラロバ)	(サブラコアオネウエラ)
	(1) 農協グループ(ストップアアンド) (2) 農協グループ・エネオ (3) 農協グループ (4) 農協グループ (5) 水産開発(PSA) (6) 農協(RMU) (7) 農協研修所(EMRS) (8) 研修所(NUD)				(ラノガ、キアエフ) (ラノガ、キアエフ)	(ラガル、ラロバ)	(サブラコアオネウエラ) (サブラコアオネウエラ)
2. カウンセリング	2. カウンセリング						
3. 中堅技術者養成研修 先進地視察	2. 中堅技術者養成研修 先進地視察						
	(1) 農協研修所 (2) 農協研修所 (3) 農協研修所 (4) 農協研修所 (5) 農協研修所 (6) 農協研修所 (7) 農協研修所 (8) 農協研修所 (9) 農協研修所 (10) 農協研修所	ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ ラノスト、バラノガ	キアエフ ラロバ、キアエフ キアエフ ラロバ バラノガ キアエフ バラノガ ラロバ、ラガル、ラエヤ	ラガル、ラエヤ ラエヤ、サブラコア ラガル、ラエヤ ラエヤ、サブラコア ラロバ ラガル、ラエヤ ラガル	サブラコア、オネウエラ サブラコア、オネウエラ オネウエラ サブラコア、オネウエラ オネウエラ サブラコア、オネウエラ サブラコア ラノスト(個人G.)	オネウエラ、サブラコア	

カウンセリングは主として、各社の組織と本社グループ事業(糖米系、糖米利用組織、ストックアアンド、小規模プロジェクト等)について、定期的に巡回実施した。



表4: プロジェクト対象村の住民基本データ  
(1997.1; 農経調査)

村名	人口*	男性	女性	世帯	部族グループ別人口(%)**					
					トラキ族	ブギス族	ジャワ族	バリ族	トラキ族	その他
1) ラノメト	1,856人	942人	914人	347人	48.6人	2.7人	37.0人	-人	8.2人	3.4人
2) バランガ	1,683	868	815	343	47.6	43.4	7.5	-	-	1.5
3) キアエア	1,283	646	627	282	48.8	51.2	-	-	-	-
4) ラエア	1,049	520	529	238	73.0	27.0	-	-	-	-
5) ラロバオ	2,665	1,375	1,290	559	100.0	-	-	-	-	-
6) ラブル	2,281	1,223	1,058	451	33.7	52.3	-	13.4	-	0.6
7) サブラコア	1,380	682	698	271	97.4	2.6	-	-	-	-
(サブラコア)	(746)	(369)	(377)	(147)	(96.6)	(3.4)	-	-	-	-
(ワツワツ)	(634)	(313)	(321)	(124)	(98.4)	(1.6)	-	-	-	-
8) オネウエラ	796	421	375	165	100.0	-	-	-	-	-

\*) Agri. Extension Office in each village: 1995

\*\*) Nishimura: Survey on Farmers' Group in the Project Village: 1994

表5： 農民グループ (Kelompok Tani)の組織化状況

村名 (種)	農民グループ数					
	1991	1992	1993	1994	1995	1996
1. ラノメト	9	9	11	11	11	11
2. バランガ	10	10	10	10	10	10
3. キアエア	5	5	11	11	11	11
4. ラロバオ	2	5	5	5	5	5
5. ラブル	3	3	3	8	8	8
6. ラエア	6	6	6	6	6	6
7. サブラコア	10	10	10	10	10	10
8. オネウエラ	1	2	3	6	6	7
合計	46	51	59	67	67	68

表6： 農村女性グループ (Kelompok Wanita Tani) の組織化状況

村名 (号)	農村女性グループ数					
	1991	1992	1993	1994	1995	1996
1. ラノメト	-	-	-	1	1	2
2. バランガ	-	-	9	9	9	9
3. キアエア	-	-	-	5	5	5
4. ラロバオ	-	-	-	-	1	1
5. ラブル	-	-	1	1	1	1
6. ラエア	-	-	-	3	3	3
7. サブラコア	-	-	-	-	4	4
8. オネウエラ	-	-	-	1	1	4
合計			10	20	25	29

表7： 農村若者グループ (Kelompok Tani Tani)の組織化状況

村名 (年数)	農村若者グループ数					
	1991	1992	1993	1994	1995	1996
1. ラノメト	-	-	3	3	3	3
2. バランガ	-	-	2	2	2	2
3. キアエア	-	-	2	2	2	2
4. ラロバオ	-	-	-	1	1	1
5. ラブル	-	-	-	1	1	1
6. ラエア	-	-	-	1	1	1
7. サブラコア	-	-	-	-	2	2
8. オネウエラ	-	-	-	-	2	2
合計			7	10	12	13

表8: 農業機械利用組織利用実績表

村名	期間 (年)	全耕起 面積 (Ha.)	(1) 利用料金(Rp.)		(2) 燃料手当(33%) Rp.	(3) 燃料・オイル代(10%)	(4) 修理・部品代(5%)		(5) 運転手(5%)	
			料金総額	徴収料金			予算 Rp.	支払金額		予算 Rp.
1. ラノメト	93-96	146.6	16,991,100	14,505,200	5,724,675	1,699,075	2,050,300	850,300	5,391,375	3,221,200
2. バランガ	93-96	49.7	5,452,100	4,283,100	1,744,625	545,200	591,100	272,575	1,799,150	1,090,400
3. キアエマ	93-96	18.0	1,983,800	1,867,200	684,825	198,375	286,200	99,200	654,850	396,750
4. ラロバオ	94-96	10.3	917,550	616,900	293,600	72,425	170,450	42,175	312,675	183,225
5. ラブル	94-96	34.3	3,778,500	3,549,850	1,209,125	381,850	559,550	190,925	907,100	857,225
6. ラエマ	95-96	3.9	429,000	427,000	-	-	-	-	141,575	-
7. サブラコア	95-96	6.1	676,500	335,500	215,475	215,050	-	-	232,250	135,300
8. オネウエマ	96-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		268.9	30,228,550	25,585,250	9,823,325	2,896,925	3,657,600	1,455,400	9,429,975	5,884,400

  

村名	(6) 総収入予算	(7) 実収入	(8) 未収金	(9) 記帳未収金	(10) 不明金
1. ラノメト	16,991,100 Rp.	14,241,000 Rp.	2,750,100 Rp.	1,687,525 Rp.	-1,052,575 Rp.
2. バランガ	5,452,100	4,283,100	1,169,000	-	-
3. キアエマ	1,983,800	1,867,200	116,600	97,800	-
4. ラロバオ	917,550	616,900	300,650	300,650	-
5. ラブル	3,778,500	3,549,850	228,650	228,650	-
6. ラエマ	429,000	427,000	-	-	-
7. サブラコア	676,500	335,500	339,000	336,500	-2,500
8. オネウエマ					
合計	30,228,550	25,585,250	4,904,000	2,661,125	-1,037,075

表9： 精米所利用突積表

村名	期間	(1) 精米実績 (kg.)	(2) 総収入 (Rp.) (100%)		(3) ホルダー料 (Rp.) 10%		(4) 精米料 (Rp.) 10%		(5) 精米料 (Rp.) 10%	
			精米	雑収入	予算	支払金額	予算	支払金額	予算	支払金額
1. ラノメト	93-96	24,884	9,754,650	1,222,425	1,651,625	1,222,425	1,173,375	1,222,425	1,222,425	1,487,525
2. バランガ	93-96	2,705.5	1,432,250	147,725	147,725	147,725	201,300	147,725	147,725	208,250
3. キアエ7	95-96		3,691,175	422,825	422,825	422,825	477,000	422,825	422,825	458,275
4. ラロバオ	94-96	1,796	1,036,475	105,850	105,850	105,850	105,850	105,850	105,850	105,850
5. ラエヤ	95-96	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6. ラブルー	94-96		8,276,600	827,660	1,158,725	827,660	855,000	827,660	827,660	835,000
7. サブラコア	95-96	159.5	117,300	11,725	11,725	11,725	11,725	11,725	11,725	11,725
8. オネウエラ	96									
合計			24,308,450	2,738,210	3,498,475	2,738,210	2,825,250	2,738,200	2,738,200	3,106,625

  

村名	(6) ストック (Rp.)		(7) 償却積立金 (Rp.) 10%	(8) 雑収入 (Rp.) 5%
	1993-96	1995-96		
1. ラノメト	2,407,575	3,833,100	1,046,725	562,300
2. バランガ	267,225	387,800	147,700	72,250
3. キアエ7	845,650	1,064,600	422,825	532,775
4. ラロバオ	189,575	359,175	105,850	64,325
5. ラエヤ	-	-	-	-
6. ラブルー	1,241,500	2,995,950	827,660	362,775
7. サブラコア	23,450	41,000	11,725	5,900
8. オネウエラ				
合計	4,974,975	8,681,675	2,562,475	1,600,325

表10： 農業機械利用組織 (FMRS) および精米所 (RMU)の管理運営  
(1996.12)

1. 農業機械利用料金および経費内訳表：

	現 行 (%)	改 訂 (%)
利 用 料 金 (Rp./ha.)	Rp. 110,000 (100%)	Rp. 125,000 (100%)
運転手手当	35,200 ( 32%)	33,750 ( 27%)
燃料・オイル代	11,000 ( 10%)	16,250 ( 13%)
部品・修理代	5,500 ( 5%)	18,750 ( 15%)
償却費	36,300 ( 33%)	37,500 ( 30%)
管理費 (事務経費)	- -	6,250 ( 5%)
ストックファンド (FG)	22,000 ( 20%)	12,500 ( 10%)
合 計	110,000 (100%)	125,000 (100%)

2. 農業機械利用組織 (FMRS) および精米所 (RMU)の管理運営 (改訂)

村 名	農業機械利用組織		精米所	
	管理運営	事務	管理運営	事務
1. ラノメト	FGU		KUD	
2. バランガ	FGU	PPL	KUD	PPL
3. キアエア	FGU		KUD	
4. ラエア	FGU		-	
5. ラロバオ	PPL	PPL	FGU	
6. ラブルー	FGU/KUD		KUD	
7. サブラコア	PPL	PPL	FGU/KUD	PPL
8. オネウエラ	PPL	PPL		

表11： 農民グループ・ストックフアランド保有実績表 (1991-96)  
(1996. 12)

村名	農民グループ数	事業別ストックフアランド積立金額				合計
		水路掘削	精米所利用	農業機械利用	グループ別、その他	
1. ラノメト	11	Rp. 5,565,000	Rp. 3,537,800	Rp. 3,221,200	-	12,324,000
2. パランガ	10	2,519,825	279,350	1,090,400	-	3,889,575
3. キアエア	11	3,990,000	1,126,275	396,750	-	5,513,025
4. ラロバオ	5	2,534,000	238,350	183,225	-	2,955,575
5. ラブル-	8	2,785,000	2,256,750	857,225	-	5,898,975
6. ラエア	6	-	-	141,575	-	141,575
7. サブラコア	10	3,062,750	23,450	135,300	-	3,221,500
8. オネウエラ	7	1,331,800	-	-	-	1,331,800
合計	68	21,788,375	7,461,975	6,025,675	-	35,276,025

表12: 小規模プロジェクト(ミニ・プロ)実績表(1)

村名	1992年度	1993年度	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度
ラノメト: 若者 女性 農民	パイア百の百 野菜種子生産 パイア百の家 カニュー加工	米、雑穀、野菜 製作、野菜(ピーナツ、 野菜、とうもろこし) 作付体系、サラク種子増	小規模集積、集積 とうもろこし栽培 野菜栽培、野菜種子生産 カニュー加工 作付体系、 ソルジャン(野菜栽培)	野菜栽培、野菜種子生産 堆肥づくり	農産加工(クッキー、ケーキ) カニューナツツ加工	
パランガ: 若者 女性 農民	パイア百の百 サラク種子生産 パイアの家庭菜園	米、野菜栽培 米、野菜栽培 米、野菜栽培	ピーナツ栽培 小規模集積、優先野菜栽培		カニューナツツ加工 堆肥作り	
キアエ: 若者 女性 農民	パイア百の百 野菜種子生産 パイアの家庭菜園	ピーナツ栽培、野菜栽培 優先野菜栽培	ピーナツ栽培、野菜生産 優先野菜栽培	野菜栽培 カニューナツツ加工	野菜栽培 カニューナツツ加工 西瓜・メロン栽培	
ラロバオ: 若者 女性 農民		アランアラン地の利用 野菜栽培 サラク種子増	アランアラン地の利用 優先野菜栽培 サラク種子増	堆肥作り ひまわり栽培 カニューナツツ加工 家庭菜園		
オネウエ: 若者 女性 農民			ソルジャン栽培	野菜栽培	堆肥作り 野菜栽培 カニューナツツ加工 全体で野菜栽培	

表13： 小規模プロジェクト（ミニ・プロ）実績表（2）

村名	1994年度	1995年度	1996年度	1997年度
ラエア： 若者 女性 農民		果樹栽培(マンゴ) カシューナッツ加工 家庭菜園	カシューナッツ加工 家庭菜園 織物作り、サイレージ 野菜栽培	
ラブルー： 若者 女性 農民			とつもちし業者 カシューナッツ加工、野菜栽培 ピーナッツ、緑豆栽培	
サブラコア：若者 女性 農民	果樹栽培(マンゴ)	果樹栽培(アブリサン方式栽培) とつもちし業者(鶏の卵) カシューナッツ加工	養蚕 カシューナッツ加工	
カウンターパート：		しいたけ栽培 農産加工(豆乳ヨーグルト、牛肉 燻製)	フィッシュエムール栽培(鶏の卵) 太陽黒クッキー サイレージ(ピーナッツ茎葉粉)	

表14： プロジェクト対象村担当農業改良普及員 (PPL)一覧表  
(1996.12)

村名	普及員氏名	性別	学歴	出身部族名
1. ラノメト	1. Sumi	女	農業高校	ジャワ族
	2. Giyatno	男	農業高校	ジャワ族
2. バランガ	3. Burhani Ali	女	Diploma III	ルウキ族
	4.	男	農業高校	
3. キアエア	5. Ismail Landau	男	Diploma I	トラキ族
	6. Maulana		農業高校	トラキ族
4. ラロバオ	7. Kamaruddin	男	農業高校	トラキ族
	8. Juhartin Sapo	女	農業高校	トラキ族
5. ラブルー	9. La Polo	男	農業高校	ムナ族
	10. Isla Avofa	女	農業高校	トラキ族
6. ラエア	11. Suharlan	男	農業高校	トラキ族
	12. Anas Aini	男	農業高校	トラキ族
7. サブラコア	13. Yohanes Belten	男	農業高校	トラキ族
	14. Mariam /g	女	農業高校	トラキ族
8. オネウエラ	15. Ahmad Yunus	男	農業高校	トラキ族
	16. Yohana S	女	農業高校	トラキ族









JICA